

# 歴代の権力者達を虜にした千年の書『源氏物語』13帖「明石」を深掘りダイナミックな歴史書

ゆかりの地を歩く  
MAPと資料付き

## 【巻頭カラー45ページ】

- 源氏物語ゆかりの地 Map&解説
- 資料多数掲載

「明石入道の碑」(善楽寺)



三基の石碑は三つ子の如く  
松平忠国が自詠の歌を刻み建立したとされる三つの石碑。形も大きさもほぼ同じ。それは、まるで三つ子のように、ひっそりと建つ。忠国は、これらの石碑にどんな思いを込めたのでしょうか。

「岡の屋形の碑」(岡之屋形跡)

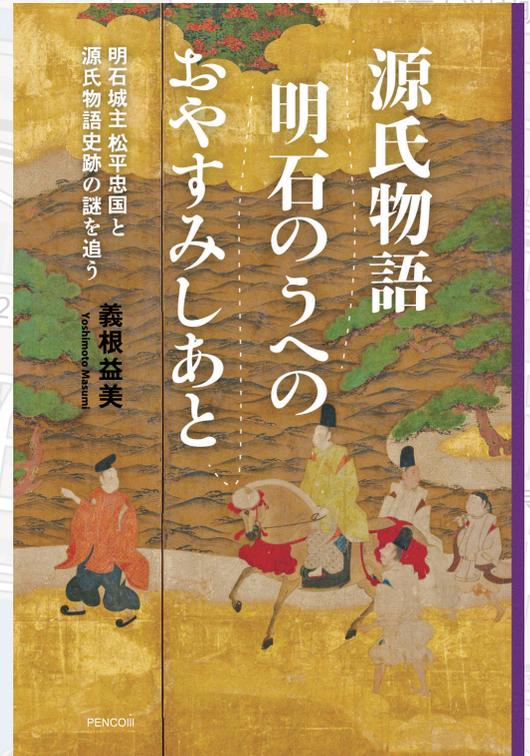


「平忠度の碑」(忠度塚)



**地図を片手に、さあ、一緒に謎解きの旅へ！**

光源氏の仮住まい、月見の松、明石入道の館……  
明石市には物語ゆかりの地が多く残されている。  
虚構の物語と、現実世界がなぜつながっているのか。謎は多い。  
そんな中、唯一、「史跡」といえる石碑が三基現存する。  
五代明石城主松平忠国が、自詠句を刻み、建立したカタチも大きさも全く同じ、まるで三つ子のような石碑。建立地や歌が意味するものは？  
本書では三基の石碑に残された小さなヒントから、膨大な歴史資料をひもときながら、「源氏物語史跡」の「謎」を解き明かしていく。



## 源氏物語 明石のうへのおやすみしあと

明石城主 松平忠国と源氏物語史跡の謎を追う

ゆかりの地を歩く  
MAPと資料付き

著：義根益美(よしもと ますみ/日本近世史研究者)  
価格2,200円(本体2,000円)  
ISBN:978-4-295-41023-2 四六判/278頁

【著者・義根益美】日本近世史を中心に研究。兵庫県明石市在住。自治体の市史編さん、学芸員などを経て、時代や分野に関係なく幅広く、様々な資料と向き合い、地域に残されている資料や博物館所蔵資料の調査・研究に従事し、博物館発行の図録や学会誌に解説や研究発表を続けている。「資料に忠実」がモットー。神戸女子大学大学院文学研究科後期博士課程中途退学。

ご注文はこのままFAXでお送りください

FAX送信日 /

インプレス受注センター 行

FAX. **048-449-8041**

【内容に関するお問い合わせは、発行：ペンコムまで】

Tel:080-4243-0391 fax:078-959-8033 <http://pencom.co.jp/>

ご注文冊数

冊

貴店番線印

ご担当 ( ) 様